

平成17年7月8日

第105回光応用・視覚技術委員会議事録

光応用・視覚技術委員会
委員長 関根征士

- . 日時：平成17年4月15日(金) 14:00～17:00
- . 場所：日本交通協会第1会議室
- . 出席者：関根委員長、石井、神保、高橋、依田、綱脇、山羽、堀内 各委員、篠田幹事
- . 配布資料
 - No.105-01 第104回光応用・視覚技術委員会議事録(案)
 - No.105-02 第63回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(平成16年3月3日開催)議事録(案)
 - No.105-03 光応用・視覚技術委員会活動方針(案)
 - No.105-04 A部門の専門領域の見直し(細分化)
 - No.105-05 リソグラフィ先端技術調査専門委員会設置趣意書
 - No.105-06 平成16年度研究会活動補助金 会計報告
 - No.105-07 第14,15回超微細リソグラフィ技術調査専門委員会議事録
 - No.105-08 第11回多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会議事録
 - No.105-09 第3回メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会議事録(案)
 - No.105-10 第2回新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会議事録(案)
 - No.105-11 平成16年度の活動報告,平成17,18年度の活動計画
 - No.105-12 光応用・視覚技術委員会名簿

. 議事

1. 前回議事録の確認

配布資料No.105-01に基づき、篠田幹事より前回議事録が読み上げられ、以下を訂正して承認された。

1) p2 2.2 「優秀論文賞穂候補者」 「優秀論文賞候補者」

2. 報告および審議事項

2.1 A部門調査研究運営委員会報告

関根委員長より配布資料No.105-02に基づきA部門調査研究運営委員会(3月3日開催)の報告並びに連絡事項などについて、以下のような報告がなされた。

- 1) 技術委員会・専門委員会運営細目の申し合わせ「会員比率80%以上、新・境界領域については新設時50%以上、2期目以降80%以上」が確認された旨の報告があった。
- 2) A部門大会(8月22,23日)が日本大学理工学部駿河台校舎で前回とほぼ同様の形式で行われる旨の報告があった。
- 3) リソグラフィ先端技術調査専門委員会の委員公募掲載に関して、委員会開催頻度を5回/年に修正した旨の報告があった。
- 4) 専門領域キーワードの見直しに関する報告があった。

2.2 本技術委員会の活動方針について

関根委員長より配布資料 No.105-03 に基づき標記に関して説明があり、以下を修正することになった。

- 1) 1. 「照明学会・日本光学会」 「照明学会・日本赤外線学会・日本分光学会・日本光学会」
- 2) 6.(2)及び7.(2) 「超微細リソグラフィ技術調査専門委員会」 「リソグラフィ先端技術調査専門委員会」

2.3 A部門の専門領域の見直し(細分化)

関根委員長より配布資料 No.105-04 に基づき標記について説明があり、各調査専門委員会から小領域名称を 5 個程度提案していただくこととし、関根委員長に e-mail で連絡することとした。

2.4 リソグラフィ先端技術調査専門委員会設置趣意書

堀内委員より配布資料 No.105-05 に基づき標記について説明があり、委員会委員公募様式の委員会開催頻度を 5 回 / 年に修正した旨の報告があった。

2.5 平成 16 年度研究会活動補助金 会計報告

篠田幹事より配布資料 No. 105-06 に基づき標記について説明があり、電気学会に提出した旨の報告があった。

2.6 調査専門委員会の活動報告

1) 超微細リソグラフィ技術調査専門委員会

堀内委員より配布資料 No.105-07 に基づき委員会報告がなされた。

第 14 回委員会は平成 16 年 12 月 17 日に開催し、「インプリントリソグラフィ技術」および「EUV シンポジウム報告」について講演していただいた。

第 15 回委員会は平成 17 年 2 月 25 日に開催し、「Maskless Meeting 報告」および「最先端リソグラフィの課題と光源メーカーへの期待」について講演していただいた。

2) 多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会

綱脇委員より配布資料 No.105-08 に基づき委員会報告がなされた。

第 11 回委員会は平成 16 年 12 月 10 日に開催し、「小型濁度センサーの開発事例紹介」および「高温超伝導 $\text{Bi}_2\text{Sr}_2\text{CaCu}_2\text{O}_{8+x}$ 固有ジョセフソン接合におけるテラヘルツ波共振」について講演していただいた。

3) メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会

山羽委員より配布資料 No.105-09 に基づき委員会報告がなされた。

第 3 回委員会は平成 17 年 2 月 8 日に開催し、「世代間の視覚情報を接続するインターエイジビジョン」および「プリンタの出力におけるカラーマッチング補正方法の検討」について講演していただいた。

4) 新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会

配布資料 No.105-10 に基づき委員会報告が行われた。

第 2 回委員会は平成 17 年 1 月 17 日に開催し、「光源プラズマの物理と応用」および「開発現場の現状」について講演していただいた。

2.7 平成 16 年度活動報告および平成 17 年度、18 年度の活動計画について

配布資料 No.105-11 に基づき、各調査専門委員会の活動日程の確認を行った。

2.8 委員会名簿の確認

配布資料 No.105-11 に基づき名簿の確認を行い、石井委員の電話番号及び Fax 番号を変更した。

3. 次回委員会について

日時：平成 17 年 7 月 8 日（金）14:00～17:00

場所：日本交通協会第 2 会議室

以 上